

## 元気に戻ってきてね 小学生151人がサケ稚魚放流

4月19日、織笠川河川敷でサケ稚魚放流会が行われました。参加したのは町内の小学1年生から3年生までの児童151人で、サケ稚魚約1万5千匹を放流しました。初めに、宮古水産振興センターの職員から講話があり「サケは川のおいを頼りに帰ってくる」といった、サケの生態に関する話を、児童らは興味深そうに聞いていました。放流の際には「可愛い」や「元気に戻ってきてね」といった声をかけながら稚魚たちを見送る児童。最後は全員で合唱し、サケの元気な成長を願いました。



## 元気に毎朝部屋の掃除 鈴木ミノリさん100歳迎える

4月13日、大沢の鈴木ミノリさんが100歳を迎えられ、佐藤町長が長寿祝金を贈呈しました。大沢で、5人兄弟の2番目として生まれた鈴木さんは、岩泉町出身の旦那さんと結婚し、カキの養殖やタラの縄さやめの仕事をしています。長寿の秘訣は年に1回、1週間ほど温泉旅行をしていたことではないかとご家族は話します。また、毎朝自分で部屋の掃除をしていることを聞いた佐藤町長は「お若い」と驚きの一言。鈴木さんは「ありがとうございます」と笑みを浮かべて謝辞を述べました。

## 白石集落ごっとな会の農業体験 25人が農業に触れる

4月14日、織笠の白石地区で「そば＆野菜づくり全部体験」が行われました。これは、白石集落農業生産組合が作った組織「ごっとな会」が行う体験会で、種まきから収穫まで全てを体験できるイベントです。この日行われた本年度最初の体験会には、25人が参加し、ジャガイモとトウモロコシの植え付けを行いました。最後は、集落で取れた野菜を使った料理を堪能。自然と触れ合い、ゆったりとした時間を楽しんでいました。今年度はあと9回の体験会が予定され、次回は5月26日に開催されます。



## 外国人観光客を呼び込むために 英語での接客のコツ学ぶ

4月9日、町中央公民館で「外国人おもてなしイングリッシュ講座」が行われました。これは、外国人観光客に対する接客方法やコミュニケーションの取り方などを学んでもらおうと山田町復興コーディネーター協議会が企画したもので、観光事業関係者ら65人が参加しました。講師の櫻井亮太郎さんは、発音のコツや、簡単な英語と日本語を交えて伝える方法などを講演。また、観光による売り上げ増加にはガイド育成が必要と訴え、参加者は外国人観光客に対応するべく、真剣に受講していました。



# 町のわだい

今月の題字 堀合 愛菜さん（山田北小6年）



## 町長旗争奪スポ少野球大会 オール豊間根が優勝

4月21日、第31回山田町長旗争奪スポーツ少年団野球大会が開催されました。大会は町総合運動公園で行われ、オール豊間根野球スポーツ少年団と山田野球スポーツ少年団が出場。選手たちは日ごろの練習の成果を発揮し、打撃に守備にと光るプレーを見せていました。試合の結果、11対0のスコアで勝ったオール豊間根野球スポーツ少年団が優勝。最優秀選手賞を受賞したオール豊間根の柏谷翼選手は「今日はストライクが多く投げられてよかった。今後の試合に向け練習を頑張っていきたい」と力強く話しました。



## 期待に胸を膨らませる 山田北小学校で入学式

4月5日から8日にかけて、町内各小中学校で入学式が行われました。8日には山田北小学校（佐々木<sup>かずよし</sup>校長）に男子4人、女子2人が入学。新入学生6人は、音楽に合わせて緊張した面持ちで入場しました。佐々木校長が「元気な声で返事やあいさつをすることや、安全に気を付けること」などを話すと、新入学生は真剣な表情で耳を傾けていました。式終了後に、2年生のお兄さん、お姉さんが縄跳びや跳び箱、演奏などを披露すると、新入生からは大きな拍手が起こり、今後の学校生活に期待で胸を膨らませていました。

